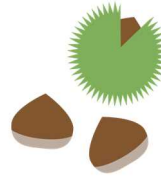


# おゆみ野南中だより



千葉市立おゆみ野南中学校  
平成29年11月1日(水)  
第7号 学校だより 霜月



OMF（おゆみ野南Music Festival）が伝統に！

平江 正実

昨日〔10月31日（火）〕「心に響く“あい”の歌を ～つくろう私たちで～」をスローガンに県文化会館でOMFが行われました。当日は、多くのご来賓・保護者の皆様、ご家族の皆様にご参観いただきありがとうございました。

さて、OMFは5月に実行委員会を発足してから約5か月かけて本番を迎えるという学校行事の中でも一番時間をかけて取り組んできている行事になります。また、10月に入って、2日（月）に音楽芸術体験教室を開催し、全校でプロのオペラ歌手のコンサートを聴いた後、その方々に3年生の各クラスに入って直接指導していただきました（2年生は男女別に課題曲の指導がありました。1年生は来年度を楽しみにしてください）。2時間の体験でしたが、全校のOMFに対する意気込みもさらに加速したものと思われます。さらに、後期に入りどのクラスもOMFに向けての朝練習に取り組み、始業前から全学級で歌声があふれる熱の入りようでした。そして、当日の全校生徒の真剣な取組によって、今年もとてもよい行事となりました。

このようなOMFには、以下のような良さがあると考えています。

## 1. 学年進行に伴った合唱レベルの差がはっきり出ている

学年進行に伴って格段にレベルが上がっています。そして、3年生の姿を見て、1・2年生が「来年は、自分たちも3年生のような歌が歌えるようになりたい」という思いを毎年持つことです。これが次年度へとつながり、伝統として受け継がれていく行事になっています。

## 2. 行事としてのレベルが高さが感じられる

行事としてのレベルが高いか低いかは、発表内容の出来だけではありません。中学校の行事で目指しているのは、「生徒主体の運営」です。つまり、生徒だけで運営ができていく状態であるほど、すばらしい行事になっていると考えます。この点からも生徒が様々な役割を担ってよく活動している行事になっているという点は、他の行事でも目指したいところです。

## 3. 審査発表の瞬間まで、自分の学級を信じている

どの学級も、この舞台にかけてきた多くの時間、そして熱い思い、紆余曲折しながら級友と一つの目標に向かって頑張るといった体験を経たからこそ、審査発表の瞬間まで自分の学級の可能性を信じています。

## 4. 卒業生は自校の自慢できる活動として、入試の面接で紹介している

毎年、3年生の入試の面接練習の際、私が担当した生徒達に「あなたの学校の自慢できるところを教えてください。」と質問すると約3分の1の生徒がOMFを挙げるようになってきています。自分の学校の他に誇れる活動として、胸を張って言えるようになっていくことをうれしく思います。

この他にもそれぞれの生徒において、OMFを通しての学びや感じた良さがいくつもあったものと思います。

最後になりましたが、今年度もみなみ会の皆様には早朝より受付・案内等でOMFを支えていただきありがとうございました。そして、何よりも“歌声があふれる学校”を創り上げてきた生徒たちの頑張りに感謝します。

# 千葉市音楽発表会



10月25日に千葉市音楽発表会が行われました。おゆみ野南中学校からは有志の生徒66名が出場し、歌声を会場中に響かせました。



## 平成29年度合唱コンクール 結果発表

1学年最優秀賞 A組 優秀賞 C組 G組

2学年最優秀賞 H組 優秀賞 B組 C組  
G組

3学年最優秀賞 A組 優秀賞 B組 D組

特別賞 I組



**速報！10月21日(土)に千葉市中学校新人サッカー大会が千葉市の中田球技場で行われました。  
サッカー部は、決勝で蘇我中に4-0で勝利し、見事優勝しました！おめでとう！！**